

各自治体関係者・観光振興に関わる皆様 各位

株式会社リクルート
じゃらんリサーチセンター センター長 沢登 次彦

オンラインセミナー開催のお知らせ（参加費無料）

じゃらんリサーチセンター「観光振興セミナー2021」

～いまこそ、「変わる地域」の観光イノベーション戦略～

拝啓 日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
新型コロナウイルス感染症による地域・観光への多大なる影響に、皆様、日々奮闘されていることと存じます。
じゃらんリサーチセンター（以下、JRC）では
例年各地で開催していた「観光振興セミナー」を、本年も「オンラインセミナー」としてお届けさせていただきます。
地域および観光の需要回復にお役立ていただけますと幸いです。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

敬具

【概要】

- ・本セミナーは、事前お申込みいただいた方のみ限定公開のオンラインセミナーです
- ・下記日程でリアルタイム配信を行います（各日で限定3,000名まで聴講可能）
- ・事前お申込み者様のみ、セミナー開催日の数日前に当日視聴用URLをメールでお送りします

●テーマ1：ポストコロナ時代の観光戦略編

最新研究レポートから解説

■2021年7月6日（火）

【定量調査】「新型コロナウイルス感染症による旅行価値観の変化」
【定性調査】「新型コロナウイルス感染症による旅行意識の変化」より
**国内旅行市場回復のランドスケープ
変わる？ 変わらない？ これからの旅の価値観**

■2021年7月9日（金）

**新しい関係人口
ワーケーション需要の現状と可能性**

●テーマ2：エリア別 最新旅行実態編

初解説！最新版「じゃらん宿泊旅行調査2021」

■2021年7月13日（火）

全国＋東北・関東甲信越・北陸エリアの最新分析

■2021年7月16日（金）

全国＋東海・関西・中四国エリアの最新分析

■2021年7月21日（水）

全国＋北海道・九州・沖縄エリアの最新分析

【本セミナーのポイント】

- オンラインにて全5日間のプログラムで展開。単日のみ、または5日間通しの応募も可能です。
- 今注目の2大テーマを設定。17年目を迎えるJRC基幹調査「じゃらん宿泊旅行調査2021」の最新データ分析、独自調査を盛り込みポストコロナ時代を見据えた観光戦略を軸に紹介します。
- その他にも、各日で観光変革期のいま、地域単位で取り組むべきテーマとして、DMO先進事例、宿泊需要の高付加価値マーケティング、インバウンドデジタルマーケティング、着地型体験、若年層獲得戦略、観光地ブランディング、ご当地グルメ開発、SDGsによる地域共創などJRC研究・調査結果を日替わりでお届けします。

→お申込み方法・プログラム詳細は、次ページ以降をご覧ください

主催：株式会社リクルート じゃらんリサーチセンター
後援：国土交通省 観光庁

●開催概要●

オンラインセミナー じゃらんリサーチセンター「観光振興セミナー2021」 ～いまこそ、「変わる地域」の観光イノベーション戦略～

1. オンラインセミナー日時

下記日程でリアルタイム配信を行います。

【テーマ1】ポストコロナ時代の観光戦略編

- 第1回 2021年 7月 6日(火) 13:30～16:40 終了予定
- 第2回 2021年 7月 9日(金) 13:30～16:40 終了予定

【テーマ2】エリア別最新旅行実態編

- 第1回 2021年 7月13日(火) 13:30～16:40 終了予定
- 第2回 2021年 7月16日(金) 13:30～16:40 終了予定
- 第3回 2021年 7月21日(水) 13:30～16:50 終了予定

2. 参加費 無料

3. セミナープログラム内容

各日プログラム内容が異なります。次ページ以降で詳細をご確認の上、ご希望の日程をお申込みください。

4. お申込み方法

じゃらんリサーチセンターホームページよりお申込みください。

- 【お申込み〆切】 2021年 7月1日(木) 23:59まで
- 「観光振興セミナー2021」お申込みページ <https://jrc.jalan.net/seminar/3627/>

<アクセス手順>

- ①WEBブラウザにて、「じゃらんリサーチセンター」と検索
- ②トップページ 右上の「セミナー」タブをクリック
- ③「観光振興セミナー」一覧から
「[【お知らせ】観光振興セミナー2021を開催いたします](#)」をクリック



※右記QRコードからも、ページへアクセス可能。読み取れない場合は上記URLからアクセスください

5 セミナー当日の視聴方法について

- ・本セミナーは、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため「オンラインでの聴講」となります。
- ・PC・スマートフォンにて、開催当日にリアルタイムでの配信を予定しております。
(PCの場合はブラウザで視聴可、PC・スマートフォンでのソフトインストールは不要です。)
- ・事前にお申込みいただいた方には、セミナー開催日の数日前に当日視聴用URLをメールでお送りします。

●本セミナーへのお問合せについて●

事務局メール：jalan_rc@r.recruit.co.jp

→担当：久保田、松本

【お願い】メールでお問合せの際は以下をご記載ください。事務局より後ほどご連絡いたします。

- ・メールタイトル＝「セミナー問合せ」
- ・メール本文＝社名・団体名/お名前/メールアドレス/電話番号/問合せ内容を記載

※応募期間中、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、事務局はリモート対応となります。
お問合せの回答にお時間をいただく可能性があります。ご不便をおかけし申し訳ありません。
※お電話での問い合わせ対応は行っておりません。ご了承ください。

●2021年7月6日（火）13:30～16:40終了予定

時間	テーマ	内容	話者
13:30～13:40	開催のご挨拶		旅行Division Division長 宮本 賢一郎
13:40～14:00	国土交通省 観光庁より、「今期の戦略・重点施策ポイントの共有」		国土交通省 観光庁 観光戦略課長 片山 敏宏様（予定）
14:00～14:50	●テーマ1：ポストコロナ時代の観光戦略編 【定量調査】「新型コロナウイルス感染症による旅行価値観の変化」 【定性調査】「新型コロナウイルス感染症による旅行意識の変化」より 国内旅行市場回復のランドスケープ 変わる？変わらない？ これからの旅の価値観	新型コロナウイルス感染症の拡大によって、旅の価値観はどのように変わったのか。そしてマーケットは今後どのように変化していくのか？調査データと旅行者の生の声を基に、未曾有のコロナ・ショックを乗り越え、地域の観光が再生に向かうためのシナリオを描きます。	研究員 森戸 香奈子
14:50～15:00	小休憩		
15:00～15:30	求められる「量から質へ」の転換 個宿×地域の価値をつくる リゾート宿泊需要の 高付加価値マーケティング	密の回避、旅行グループサイズの縮小傾向とパーソナル化が加速する旅行市場で求められるのは、型化した汎用商品を多売する戦略からの転換。個宿×地域のアセットで独自価値を創造し、高付加価値化し高評価を得るためには？リゾート宿泊需要を軸に独自調査結果から解説します。	首席研究員 北嶋 緒里恵
15:30～16:00	なるほどね！そうきたか！ 「食のブランド化×ご当地グルメ開発」 小さな町の大きなシカケ	どこにでもある食材を、どこにも負けない戦略でシカケ。コロナ禍において大打撃を受けた今だからこそ考えたい「食」で誘客を目指す企画とは？差別化・独自化のポイント・着眼点や発想の転換・メディアの視点と、カスタマー視点…今すぐ使える様々な事例を紹介します。	ご当地グルメ 開発推進プロデューサー 田中 優子
16:00～16:30	「新しい日常」に対応した 観光事業者の受入事例について ～30地域への取材から見えてきた各事業者の工夫とは～	現在、飲食・宿泊・小売をはじめとした観光関連事業者は、「新しい日常」に対応したカスタマー受入の工夫が求められています。令和2年度に東京都から受託をした「新しい日常に対応した観光事業者等の受入環境モデル発信事業」にて、全国各地の30事業者より最先端の受入事例、各事業者の工夫を取材し、WEBで取り上げました。今回は、その中から複数の事例を取り上げて紹介します。	地域創造部 総合企画 グループマネージャー 平山 圭介
16:30～16:40	閉会のご挨拶 & 諸連絡		センター長 沢登 次彦 地域創造部 部長 田中 政宏

●2021年7月9日（金）13:30～16:40終了予定

時間	テーマ	内容	話者
13:30～13:40	開催のご挨拶		旅行Division Division長 宮本 賢一郎
13:40～14:00	国土交通省 観光庁より、「今期の戦略・重点施策ポイントの共有」		国土交通省 観光庁 観光戦略課長 片山 敏宏様（予定）
14:00～14:50	●テーマ1：ポストコロナ時代の観光戦略編 新しい関係人口 ワーケーション需要の現状と可能性	ポストコロナ時代、注目される『ワーケーション』のキーワード。この新たな関係人口を取り込む可能性に、地域はどのように取り組むべきか？顧客のペルソナ分類やニーズ、企業側ニーズの把握、先進地域の取り組み事例など「顧客×企業×地域」の3つの観点から解説します。	研究員 森 成人
14:50～15:00	小休憩		
15:00～15:30	自然をいかした SDGs推進のための 地域社会共創「地球コクリ！」	自治体SDGsの推進により前例のないものに挑戦する中で、自然との共創による地域の魅力化を探究。視点転換を促す価値創出法、複雑な環境での合意形成法、創出価値や魅力の定量化など、地球規模の課題を地域で取り組む方法とSDGs目標達成の可能性を探ります。	研究員 三田 愛
15:30～16:00	簡単なようで実は大変！ ご当地ラーメンの創り方 青森県「中泊トマト海鮮ラーメン」 開発事例	76個目のプロデュース商品のテーマは、<ラーメン×トマト×海鮮>。「中泊メバルの刺身と煮付け膳」「中泊メバルちゃんご鍋」に続く、青森県中泊町の新・ご当地グルメ第3弾「中泊トマト海鮮ラーメン」開発は、百戦錬磨のメンバーも苦難の道のりを歩むことに……。	客員研究員 ヒロ中田
16:00～16:30	ワーケーション、富裕層インバウンド… 地域単位で考える 新たな需要開拓に向けた兆しと事例	新型コロナウイルス感染症影響で旅行市場は大変厳しい状況にある一方、新たな旅行形態やニーズの兆しが生まれ、これまでにない成長戦略への期待も見受けられます。新たな需要獲得に取り込むため、令和2年度に地域と取り組んだ事業事例を紹介します。	地域創造部 東日本グループ マネージャー 田辺 友洋
16:30～16:40	閉会のご挨拶 & 諸連絡		センター長 沢登 次彦 地域創造部 部長 田中 政宏

●2021年7月13日(火) 13:30~16:40終了予定

時間	テーマ	内容	話者
13:30~13:40	開催のご挨拶		旅行Division Division長 宮本 賢一郎
13:40~14:00	国土交通省 観光庁より、「今期の戦略・重点施策ポイントの共有」		国土交通省 観光庁 観光戦略課長 片山 敏宏様(予定)
14:00~14:50	●テーマ2: エリア別最新旅行実態編 2020年度コロナ禍の旅行実態は? 「じゃらん宿泊旅行調査2021」 全国+東北・関東甲信越・北陸エリアの最新分析	緊急事態宣言やGoToキャンペーンの最中、旅行者はどのように動いたのか。今年で17年目となる「じゃらん宿泊旅行調査」より、コロナ禍における旅行者の動きをマクロな視点で追い、ミクロな視点で分析。特筆すべきトピックスを地域別にレポートします。	センター長 沢登 次彦
14:50~15:00	小休憩		
15:00~15:30	最前線データマーケティングを 行っている事例を研究 DMO先進マーケティング	各地域がデータを活用し、観光マーケティングを行うことは重要だが、難易度も高い。ここでは2020年度観光庁で事業メニュー化され、推進する先進的事例を取り上げ紹介。例えば、地域全体の宿泊者数のリアルタイム把握や来訪者顧客データの獲得によるリピーター獲得などDMOが主体として戦略的に取り組む事例等を解説します。	研究員 森 成人
15:30~16:00	独自調査データから紐解く “Z世代”の価値観とは? 若年層獲得戦略のいま	1990年後半頃から2012年頃に生まれ、デジタルネイティブと称される「Z世代」。「雪マジ! 19」「お湯マジ!」等、10年にわたって若年層需要創出に挑み続ける「マジ☆部」より、独自調査・分析をもとに、若年層の価値観・旅行ニーズ変化について紹介します。	「マジ☆部」担当 安井 瑞季
16:00~16:30	迅速に仕組み化し地域へ貢献する 宿泊支援策 地域支援クーポンの取り組み	予測がつかない状況が続く中、JRCでは地域の観光課題の解決をサポートするため、宿泊クーポン事業に取り組みました。全国41都道府県で実施したクーポン事業により、1年間で数十万人もの宿泊を支援し、スピーディな支援に繋がった取り組み事例を紹介いたします。	地域創造部 東北グループ マネージャー 福山 佳与子
16:30~16:40	閉会のご挨拶&諸連絡		センター長 沢登 次彦 地域創造部 部長 田中 政宏

●2021年7月16日(金) 13:30~ 16:40終了予定

時間	テーマ	内容	話者
13:30~13:40	開催のご挨拶		旅行Division Division長 宮本 賢一郎
13:40~14:00	国土交通省 観光庁より、「今期の戦略・重点施策ポイントの共有」		国土交通省 観光庁 観光戦略課長 片山 敏宏様(予定)
14:00~14:50	●テーマ2: エリア別最新旅行実態編 2020年度コロナ禍の旅行実態は? 「じゃらん宿泊旅行調査2021」 全国+東海・関西・中四国エリアの最新分析	緊急事態宣言やGoToキャンペーンの最中、旅行者はどのように動いたのか。今年で17年目となる「じゃらん宿泊旅行調査」より、コロナ禍における旅行者の動きをマクロな視点で追い、ミクロな視点で分析。特筆すべきトピックスを地域別にレポートします。	センター長 沢登 次彦
14:50~15:00	小休憩		
15:00~15:30	観光先進国事例に学ぶ インバウンド・ デジタルマーケティング手法 ~日本の観光組織で実践する新たな連携発信~	コロナ禍でも外国人ユーザーの海外旅行意欲は日々高まり、渡航解除前でも観光競合国はデジタルを活用し、積極的な情報発信を実施、渡航先の第一候補を目指し稼働しています。海外で成功しているデジタルマーケティング・SNS手法をヒントに、日本の観光組織でもすぐ取り入れられる効果的な発信方法や連携体制を紹介します。	研究員 松本 百加里
15:30~16:00	新たな市場を創出する 唯一無二の「ご当地体験」とは!?	地域ならではの魅力的な体験・アクティビティが日本各地で提供され、該当地域に旅行する際はその体験を必ずしてみたい!!と感じる体験はどんな要素を意識すれば良いのか? JRCの独自調査&先進事例を交えて解説し、地域が目指すべきポイントをお伝えします。魅力的なご当地体験を作りたいと思っっている方は是非、聞いて下さい。一緒に作っていきましょう。	研究員 齋藤 晋作
16:00~16:30	観光客を可視化、ロイヤルカスタマー獲得へ CRMシステムを活用した DMOによる観光客データ把握事例	地域にリピート来訪するロイヤルカスタマーの獲得が重要といわれる昨今。自地域に訪れる観光客の基本的属性はわかっていても現地での動向やニーズまでは把握できないことが多い。DMOによるCRMシステム構築により、観光客データを集めて可視化、ロイヤルカスタマーを獲得し、地域での滞在時間・消費額増加、自地域を目的地として強化するには? その打ち手となる事例を紹介いたします。	地域創造部 西日本グループ マネージャー 高橋 佑司
16:30~16:40	閉会のご挨拶&諸連絡		センター長 沢登 次彦 地域創造部部長 田中 政宏

●2021年7月21日（水）13:30～16:50終了予定

時間	テーマ	内容	話者
13:30～13:40	開催のご挨拶		旅行Division Division長 宮本 賢一郎
13:40～14:00	国土交通省 観光庁より、「今期の戦略・重点施策ポイントの共有」		国土交通省 観光庁 観光戦略課長 片山 敏宏様（予定）
～第1部～			
14:00～14:50	●テーマ2：エリア別最新旅行実態編 2020年度コロナ禍の旅行実態は？ 「じゃらん宿泊旅行調査2021」 全国＋北海道・九州・沖縄エリアの最新分析	緊急事態宣言やGoToキャンペーンの最中、旅行者はどのように動いたのか。今年で17年目となる「じゃらん宿泊旅行調査」より、コロナ禍における旅行者の動きをマクロな視点で追ひ、ミクロな視点で分析。特筆すべきトピックスを地域別にレポートします。	センター長 沢登 次彦
14:50～15:00	小休憩		
15:00～15:30	大量データ分析から観光地の質を測り、多様性を促す 観光地ブランディング研究	地域の戦略を考える際に、量的な目標だけでは持続可能な観光は実現しません。本研究は地域の多様性を支援することを前提に、地域の質を潜在性とブランドの観点からタイプ分類しました。代表的な地域のタイプと、自地域とを照らし合わせながら、ブランド戦略を考えるヒントにしていたければ幸いです。	研究員 森戸 香奈子
15:30～16:00	佐賀県内20市町が力を合わせて情報発信！ 『ご当地じゃらん』で 着地満足度アップを目指す	「じゃらん宿泊旅行調査（2019年度）」によると、佐賀県への旅行では「現地での観光情報が入りやすかった」という人の割合は低く、現地消費額も全国平均・九州平均を下回っていました。周遊促進・消費への課題を解決し、旅行後の満足度を向上させるための着地プロモーションに取り組んだ事例を紹介します。	地域創造部 九州グループ マネージャー 山崎 竜太郎
16:00～16:05	第1部：閉会のご挨拶		センター長 沢登 次彦 地域創造部部長 田中 政宏
～第2部～			
16:05～16:25	最新の沖縄動向から沖縄のエリア事例まで 株式会社リクルートライフスタイル 沖縄より最新報告（動画予定）	新型コロナウイルス環境下のじゃらん net における沖縄最新動向（入域・観光消費など）と、地域と協働し取り組んだ事例をご紹介します。	代表取締役社長 有木 真理
16:25～16:45	1年を振り返り、新たな兆しを探る 株式会社リクルート北海道じゃらん 今後の取り組みについて（動画予定）	リクルート北海道じゃらんの取り組みについて、新型コロナウイルス影響下の取り組み事例を紹介します。また、北海道じゃらんカスタマーから寄せられた声から読み取った『兆し』にフォーカス、今後の北海道観光マーケットの傾向を踏まえて、社長内海よりお話しします。	代表取締役社長 内海 裕晃
16:45～16:50	第2部：閉会の挨拶&諸連絡		地域創造部部長 田中 政宏

**じゃらんリサーチセンター
センター長
沢登 次彦**

じゃらんリサーチセンター長、とりまかし編集長。1993年入社。教育機関広報事業部を経て2003年4月に旅行事業（株）リクルートライフスタイルへ。関東近郊観光地のエリアプロデューサーとして地域活性に携わる。2007年4月より現職。観光庁をはじめ中央省庁や地方自治体の各種審議会委員を務める。

**主席研究員
北嶋 緒里恵**

2009年よりじゃらんリサーチセンターに配属。各自治体とともに観光による地域活性事業のプランニング・推進を担当。2014年研究員に着任。2017年より当センター調査開発グループのグループマネージャー、主席研究員に着任。現在「旅館イノベーションの可能性」等を研究。国交省検討会委員、福井県新幹線開業対策アドバイザー、ふくい観光ビジョン推進懇話会委員等を務める。

**研究員
齋藤 晋作**

前職はディレクターとしてテレビ番組制作に従事。2012年に株式会社リクルートへ入社。ホットペッパーグルメの広告営業や企画スタッフを担当。2015年にじゃらんリサーチセンターへ異動し、東海エリアのエリアプロデューサーとして地域活性に携わる。その後、北陸エリアの担当及びチームリーダーを経て、2020年4月より着地型観光に関する研究を担当。

**研究員
三田 愛**

人材育成・組織変革を専門とし、2011年より「コ・クリエーション（共創）研究」開始。自身が創発ファシリテーターを務め、垣根を越えた連携「みんなゴト」化と、事業創造「地域イノベーション」を促進し、自走型の地域活性を実現。その後、地域リーダー・首長・経営者・官僚・農家・クリエイター・教授等、多様な300名のコミュニティ「コクリ！」を創り、社会変容を研究。米国CTI認定プロフェッショナル・コーチ。経済産業省、国土交通省、内閣官房の委員を歴任。

**研究員
松本 百加里**

2011年から旅行領域の自治体におけるプロモーション設計、企画プランニング・制作などディレクターとして活動。その後、着地型旅行体験や飲食店のインバウンド領域における商品開発を実施。2015年から中国人の旅行動向調査、中国人向け予約代行センターの設計・立ち上げ、中国メディアのプロモーションプランナーとして従事。2018年より現職。「インバウンド旅行者の需要創造メカニズム研究」「海外旅行ニーズ調査」などを担当。

**研究員
森戸 香奈子**

調査担当、研究冊子「とりまかし」デスク。業界紙、マーケティング書籍など執筆活動も行う。1998年入社。株式会社リクルートリサーチ（当時）にて調査設計を担当、じゃらん編集部、広告制作を経て2007年4月より現職。日本人の国内旅行実態を調べる「じゃらん宿泊旅行調査」、インバウンドを含めた未来予測を行った「2030観光の未来需要予測」、持続可能な観光地研究「三方よしの観光地経営」などを担当。

**研究員
森 成人**

1999年入社。新規事業開発の仕事を経て、2013年4月より経済同友会の被災地支援プロジェクトにて被災地気仙沼市へ出向。被災地の復興のため、地元人材育成や観光振興、6次産業化など現地の仮設住宅に住みながら地域活性に携わる。2017年4月からは気仙沼に設立するDMO法人（一社）気仙沼地域戦略の理事、気仙沼市復興アドバイザーも務める。また2018年12月より観光庁専門家派遣事業に専門家として登録。さらに2021年度からはリモートワーク・ワーケーションに関する研究も担当。

**「マジ☆部」担当
安井 瑞季**

2017年リクルートキャリア入社後、九州エリアにて企業の中途採用支援に従事。2020年7月より現職。マジ☆部では主に、CRMやSNS活用の全体設計、雪マジ！・Jマジ！を中心に担当し、自身が雪マジ！の対象世代であった経験から、若年層のさらなる旅行促進に寄与できるよう尽力中。

**ご当地グルメ
開発推進プロデューサー
田中 優子**

2003年リクルート入社。旅行事業部にて、兵庫県北部を9年間担当。約300件ほどの宿泊施設や観光施設の集客コンサルティング営業を経験。2013年より、じゃらんリサーチセンター兵庫県エリアプロデューサーに。地域課題を解決すべく数多くの事業を実施。中でも「地域資源を人の力で観光資源に」、地域の皆さんと一緒に、数多くのご当地グルメ開発・推進を行う。2020年4月より現職。その他、兵庫県商工会連合会の課題別専門家・兵庫県立但馬技術大学の非常勤講師なども務める。

客員研究員
ヒロ中田

「空飛ぶご当地グルメプロデューサー」として、地場産食材に徹底的にこだわった企画開発型の「新・ご当地グルメ」「新・ご当地みやげ」を全国で80品以上商品化。手がけた商品は、「富良野オムカレ」「深浦マグロステーキ丼」「那須の内弁当」「佐渡天然ブリカツ丼」「館山炙り海鮮丼」「加賀バフェ」「有田焼五膳」「日南一本釣りカツオ炙り重」「いずみ親子ステーキごはん」等々。青森県平内町では新・ご当地レストラン「ホタテ一番」をプロデュース。「コンセプトが一番！」が持論。

地域創造部
総合企画グループマネージャー
平山 圭介

2018年より、(株)リクルートライフスタイルに中途入社、じゃらんリサーチセンターに配属。前職では、(株)リクルートスタッフィングにて法人向け人材サービスの営業マネージャー、自社の採用マネージャーを務める。JRCでは、渋谷区キャッシュレス推進事業、最先端インキュベーター事業、宿泊業における人材不足解決のための就労促進事業等を担当。

地域創造部
東日本グループマネージャー
田辺 友洋

旅行会社を経て、2007年に(株)リクルート入社。ブライダル事業部を経て、旅行事業部に。旅行事業部では、北陸地域の宿泊施設のコンサルタント営業を経験。2013年より、じゃらんリサーチセンターエリアプロデューサーに。富山県・石川県・福井県を担当。2016年より、東海北陸地域責任者、2017年総合プロデューサーとして東日本地域を担当後、2018年より現職。観光コンテンツ開発、DMO支援、観光戦略立案、各種調査業務等の事業に携わる。

地域創造部
東北グループマネージャー
福山 佳与子

2011年に(株)リクルートエージェントへ中途入社。人材総合サービス部門にて国内大手企業の人材戦略を担当。2016年より(株)リクルートライフスタイルへ。首都圏シティアリア領域を経て、2017年より、じゃらんリサーチセンターへ。エリアプロデューサーとして福島・関東の地域活性を担当。調査・観光戦略策定・コンテンツ開発・PR・受入環境整備など、多数の自治体事業に係わる。

地域創造部
西日本グループマネージャー
高橋 佑司

2006年入社。飲食情報事業部にて市場開発や富裕層をターゲットにした雑誌の創刊等を担当。2011年東京スカイツリー開業に向け、墨田区観光協会へ出向。2013年よりじゃらんリサーチセンター配属。首都圏・関西圏の地域活性を担当。2017年より西日本エリア全体を管轄。観光地調査分析・訪日外国人受入環境整備・コンテンツ作成・人材育成等の事業を実施。地域主体の持続可能な観光地のあり方を常に模索する。観光に関する各種委員を務める。

地域創造部
九州グループマネージャー
山崎 竜太郎

2007年より(株)リクルート旅行ディビジョン(じゃらん)にて栃木県・四国(愛媛県・香川県・高知県・徳島県)・首都圏の営業リーダーを経て、2013年より首都圏シティアリア/神奈川県・静岡県・山梨県・千葉県・茨城県のリゾートエリアの営業責任者を担当。2019年より着地型観光推進部にて、じゃらん遊び体験・予約の営業責任者として東京・名古屋・大阪・福岡の拠点を運営し、全国の着地事業の集客向上・課題解決の提案に関わる。2021年4月より現職。

株式会社
リクルートライフスタイル沖縄
代表取締役社長
有木 真理

某外食チェーン現場マネージャー・人事(採用教育課)、フリーランスのフードコーディネーターを経て、2003年リクルート入社「ホットペッパーグルメ」へ。ホットペッパー吉祥寺版編集長や営業マネージャー、営業部長などを歴任。2014年にはトレンド座談会座長を兼任。2017年に株式会社リクルートライフスタイル沖縄 代表取締役役に就任。ホットペッパーグルメ外食総研上席研究員、じゃらんリサーチセンター研究員を兼任。

株式会社
リクルート北海道じゃらん
代表取締役社長
内海 裕晃

北海道苫小牧市出身。2007年7月株式会社リクルート入社。事業開発領域 グループマネージャーとして、介護情報などの事業立ち上げに携わる。その後、飲食事業「ホットペッパー」首都圏法人担当グループマネージャーを経て、2013年10月株式会社ゆこゆこ 経営企画室長に。2016年4月より現職。

地域創造部
部長
田中 政宏
(本セミナーファシリテーター)

観光・地域振興支援を担当する観光庁などの中央省庁、全国の地方自治体の営業責任者。2007年に株式会社リクルート中途入社。じゃらんリサーチセンターでエリアプロデューサー、マネージャーとしてエリア活性に携わった後、法人向出張サービス(じゃらんコーポレートサービス(JCS))責任者を歴任。2020年4月より現職。